

### 連合奈良、公務労協奈良が「公共サービスキャンペーン県民集会」を開催（6/14）

連合奈良、公務労協奈良は、6月14日18時から、奈良県社会福祉総合センターにおいて「公共サービスキャンペーン県民集会」を開催した。この集会は、公共サービス基本条例制定の取組みなど公共サービスキャンペーンの一環として開催したもので、連合奈良構成組織から約60人の参加があった。



主催者である竹平均連合奈良事務局長および古川友則奈良公務労協副議長からのあいさつの後、藤川伸治公務労協副事務局長より「問われる公共サービスのあり方」と題して基調講演を受けた。



今後の公務労働運動について提起する藤川副事務局長

藤川副事務局長は、公務員が国民、マスコミ等からどのように見られているのか、「公務員バッシング」から見える公務員自らの課題について話すとともに、今後の公務労働運動にどのように活かせば良いか提起した。

また、集会では、①安全かつ良質な公共サービスが適正かつ確実に実施されるようにするため、公共サービスに従事する者の適正な労働条件の確保、労働環境の整備が必要である。そのため公契約条例の早期制定を実現しよう、②地域社会における医療、福祉、教育、まちづくりなどのすべての「公共サービス」が、必要な時、必要な人に、

確実に行き届くよう基盤を整備し、「公共サービス」の質を向上させ、安全で安心、豊かな地域社会づくりを実現させるための公共サービス基本条例制定をめざそうとの「集会アピール」を確認した。

最後に、引き続き公契約条例、公共サービス基本条例の制定をめざして運動を進めることを参加者全員で再確認し、団結ガンバローで閉会した。



全体で運動の前進に向けて一致団結